

北陸バイオマスフェアの開催概要

「バイオマス・ニッポン総合戦略」(平成14年12月(平成18年3月改訂)閣議決定)を受け、北陸農政局では、豊かな資源と美しい環境に囲まれた北陸を次世代に残していくために、北陸地域を発信源としてバイオマス利活用の取り組みが広がり、バイオマス・ニッポンの実現につながることを期待し、さまざまな活動を展開しています。

その一環として、バイオマス利活用に関する情報の発信と共有を図るため、平成20年2月24日(火)、石川県金沢市の石川県地場産業振興センターにおいて、「北陸バイオマスフェア」を開催しました。

本フェアでは、バイオ燃料法、優良事例の表彰・紹介、地域の団体等による様々な取組及び子どもたちの総合学習の成果などについて報告をいただきました。

また、展示コーナーを併設し、バイオマス総合学習参加校の活動展示、実地体験モデル事業活動報告ほか、様々なバイオマス関連団体等の活動PRブースの展示及び各種パンフレットの配布を行い、様々な情報を提供しました。



日 時：平成21年2月24日(火) 10:30~16:00
場 所：石川県地場産業振興センター(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)
主 催：北陸地域バイオマス・ニッポン推進連絡協議会
北陸バイオマス発見活用協議会
後 援：北陸放送
参加者：200人(一般市民、民間企業、NPO等団体、自治体等)

プログラム

【開会挨拶】(農林水産省北陸農政局長 内村 重昭)

【農林漁業バイオ燃料法等について】

農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 環境企画官 田島 隆自

【平成20年度北陸農政局バイオマス・ニッポン優良表彰】

(受賞団体) 珠洲市浄化センター(複合バイオメタン発酵施設)

【優良事例報告 珠洲市浄化センター(複合バイオメタン発酵施設)】

珠洲市 生活環境課 松川 奈緒美 氏

【地域の団体等による実地体験モデル事業の活動報告】

(1)モデル事業の実施概要

(2)「バイオエコ燃料発見・体験in 能登」

NORAバイオエコ燃料能登 事務局長 高市 範幸 氏

能登町企画財政課 主事 干場健太郎 氏

(3)「自然との共生を目指して、発見！バイオツアー」

ノム自然環境教育事務所 代表 坂本 均 氏

【子どもたちによるバイオマス総合学習の活動報告】

(1)「バイオマス・エコタウン鶴来をめざして」(ビデオレター)

白山市立明光小学校 教諭 松下 浩一 氏

(2)「バイオマスって何? 何ができるの?」

富山大学人間発達科学部附属小学校 教諭 草野 剛 氏
ほか 5年1組の皆さん

【意見交換会 パネルディスカッション】

(コーディネーター)北陸バイオマス発見活用協議会 座長 山本 和義 氏
(パネリスト)上記の各説明者のうち5名



田島 氏



優良表彰



松川 氏



高市・干場 氏



坂本 氏



草野 氏 5年1組の皆さん



松下 氏



山本 氏

【展示コーナーの状況】



(各種パンフレットの配布)



(バイオマス製品の紹介)

【主な質疑の概要】

「農林漁業バイオ燃料法等について」

(質問：南砺市の農家)

専用の米を使うということだが、栽培面積と収量はどのくらいか。

(回答：田島氏)

専用の品種である多収穫米を使い、1年目はかなりの収量があったようだが、2年目は普通の品種と変わらなくなってしまったと聞いている。収量を安定化させることが今後の課題ではないか。

優良事例報告 (珠洲市浄化センター(複合バイオメタン発酵施設))

(質問：坂井市市議会議員)

この施設は複合施設のため、上下水道と生活環境の担当課にまたがる事業だと思うが、事業を進めるにあたって、どちらが主導的に進めてきたのか。

(回答：松川氏)

珠洲市の生活環境課では、環境や上下水もすべて担当している。

(質問：民間企業)

エネルギー利用として一般的である発電をこのプラントではできないのか。また、プラント自体どのくらい電力量を使用し、それを賄っているのか。

(回答：松川氏)

施設で賄われるエネルギーの約4割程度のメタンガスしか発生していない。この施設では売れるほどのガスは発生しないという計画で進めており、将来的にもこのままでいくと考えている。

(質問：民間企業)

肥料として、きちんとした検証は行っているのか。また、無料配布するということに対して、肥料を取り扱っている業者等との調整はどうしたのか。

(回答：生活環境課)

農協では、受託販売する作物については、下水汚泥由来の肥料の使用をしないよう広報誌を通じて指導している模様である。肥料取締法に基づき肥料として登録済みであり、法的に問題はなく、成分分析を毎月行ってデータを蓄積し、安心安全に使ってもらえる

ことを確認している。現在でも農業生産者の方に使ってもらっている。

(質問：民間企業)

この施設の整備では、経費削減が大きな命題となって取組を始めたようだが、最終的にできた肥料を、無料配布するのは問題があるのではないか。将来的には、対価を求めていくという方向性があるのもいいと思うが、そうした検討はしているのか。

(回答：生活環境課)

肥料の価格が高騰して追い風になっていることから、市長に相談したところ、もうしばらく無料配布して様子を見ながら有料化について検討することになっている。

地域の団体等による実地体験モデル事業の活動報告

(質問：金沢市民)

カヤヤススキからエタノールはとれないのか。

(回答：高市氏)

エタノールはとれると聞いており、これからがその取組の一步になると思っている。

子どもたちによるバイオマス総合学習の活動報告

「バイオマス・エコタウン鶴来をめざして」(白山市立明光小学校)

(質問：金沢市民)

実施時間はどのくらいか。

(回答：松下氏)

最初に単元計画を作った際には、35時間くらいと考えていたが、実際はその倍近くかかっている。今年度は、こうした活動をすることが、何か役に立てるという思いでやれたので、子どもたちも付いてきてくれたと思っている。

「バイオマスって何？ 何ができるの？」(富山大学附属小学校)

(質問：司会)

勉強して一番楽しかったことは何？

(回答：5年1組の児童)

自分たちで切ったオノエヤナギからつくったペレットでホットケーキを作って食べたことで、とてもおいしかった。

エコタウンに行って、天ぷら油のバスを見学したこと。天ぷら油でバスを走らせたことを見たことがなかったので、すごいと思った。

(質問：司会)

勉強して環境にやさしい暮らしのためにちょっと気を付けるようになったことは？

(回答：5年1組)

これからはスーパーにも袋を持って行ったり、細かいエコをして環境を守りたい。

(回答：草野氏)

子どもたちはいろいろなことを調べて、意見を持つようになった。しかし、子どもたちが実際にできることは限られている。自分のできることは何かということを考えて、少しずつでも行動して行ってほしい。子どもたちの心の中に、この実践が少しでも根付いて、自分や家庭を変えていけるようになってくれたらと思っている。

(富山大学附属小の児童へ：松下氏)

これがスタートだと思うので、明光小のお友達と一緒にやれる時を夢見て、これからはがんばっていきこう。子どもたちにできることは限られていると思うが、できるところから始めていければいいと思う。この年代の子が一番純粋にやってやろうと思える年代だと思うので、学んだことを忘れないで、大人になったら石川と富山と一緒に地球を変えていけるようになるといいと思っている。